

特 許 協 力 条 約

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT第36条及びPCT規則70]

REC'D 17 JUN 2004

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 DK-202-PCT	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP02/08328	国際出願日 (日.月.年) 16.08.2002	優先日 (日.月.年)
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. ⁷ A61K31/728, 45/08, 9/08, A61P19/02		
出願人 (氏名又は名称) 電気化学工業株式会社		

1. この報告書は、PCT第35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条 (PCT第36条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 5 ページからなる。
3. この報告には次の附属物も添付されている。
- a ☐ 附属書類は全部で _____ ページである。
- ☐ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)
- ☐ 第1欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものこの国際予備審査機関が認定した代替用紙
- b ☐ 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。(実施細則第802号参照)

EPO - DG 1

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
- 01.11.2004
- (107)
- ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☒ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT第35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☒ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 03.02.2004	国際予備審査報告を作成した日 28.05.2004	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 村上 勝見高	4N 8827
電話番号 03-3581-1101 内線		3402

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

- ☐ この報告は、 語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の冒頭である。
- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)という国際調査
- ☐ PCT規則12.4にいう国際公開
- ☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された答覆用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 明細書

第 _____ ページ、 出願時に提出されたもの
第 _____ ページ*、 付けて国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ ページ*、 付けて国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ 項、	出願時に提出されたもの
第 _____ 項*	PCT19条の規定に基づき補正されたもの
第 _____ 項*	_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ 項*	_____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第_____ページ/図、出願時に提出されたもの
第_____ページ/図*、付けて国際予備審査機関が受理したもの
第_____ページ/図*、付けて国際予備審査機関が受理したもの

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

- | | | | |
|--------------------------|--------------------------|---------|-------|
| <input type="checkbox"/> | 明細書 | 第 _____ | ページ |
| <input type="checkbox"/> | 請求の範囲 | 第 _____ | 項 |
| <input type="checkbox"/> | 図面 | 第 _____ | ページ/図 |
| <input type="checkbox"/> | 配列表（具体的に記載すること） | | |
| <input type="checkbox"/> | 配列表に関連するテーブル（具体的に記載すること） | | |

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

- | | | |
|--|---------|-------|
| <input type="checkbox"/> 明細書 | 第 _____ | ページ |
| <input type="checkbox"/> 請求の範囲 | 第 _____ | 項 |
| <input type="checkbox"/> 図面 | 第 _____ | ページ/図 |
| <input type="checkbox"/> 配列表 (具体的に記載すること) | _____ | |
| <input type="checkbox"/> 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) | _____ | |

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

1. 次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 11

理由:

☒ この国際出願又は請求の範囲 11 は、国際予備審査をすることを要しない次の事項を内容としている (具体的に記載すること)。

請求の範囲 11 に係る発明は、「人の身体の手術又は治療による処置及び診断方法」に該当する

☐ 明細書、請求の範囲若しくは図面 (次に示す部分) 又は請求の範囲 の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない (具体的に記載すること)。

☐ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない。

☒ 請求の範囲 11 について、国際調査報告が作成されていない。

☐ ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が、実施細則の附属書 C (塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のためのガイドライン) に定める基準を、次の点で満たしていない。

書面による配列表が

- ☐ 提出されていない。
☐ 所定の基準を満たしていない。

コンピュータ読み取り可能な形式による配列表が

- ☐ 提出されていない。
☐ 所定の基準を満たしていない。

☐ コンピュータ読み取り可能な形式によるヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが、実施細則の附属書 C の 2 に定める技術的な要件を、次の点で満たしていない。

- ☐ 提出されていない。
☐ 所定の技術的な要件を満たしていない。

☐ 詳細については補充欄を参照すること。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)

請求の範囲 1-10 有
請求の範囲 無

進歩性 (IS)

請求の範囲 1-10 有
請求の範囲 無

産業上の利用可能性 (IA)

請求の範囲 1-10 有
請求の範囲 無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

請求の範囲1-10に係る発明は国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載
されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

第Ⅳ欄 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付けについての意見を次に示す。

請求の範囲1-10は、明細書によって十分に裏付けされていない。すなわち、明細書によれば請求の範囲1-10はヒアルロン酸エステル誘導体を安定に提供する発明であるが、明細書に安定性についての裏付けが示されているものはヒアルロン酸ゲルについてのみであり、ヒアルロン酸エステル誘導体の広範な概念全般についての十分な裏付けはされていない。